

「平和大通りの利活用のためのワークショップ」通信 第3号

日 時：令和4年11月30日(水)18:00~20:00
場 所：合人社ウェンディひと・まちプラザ 研修室ABC
参加者：47名

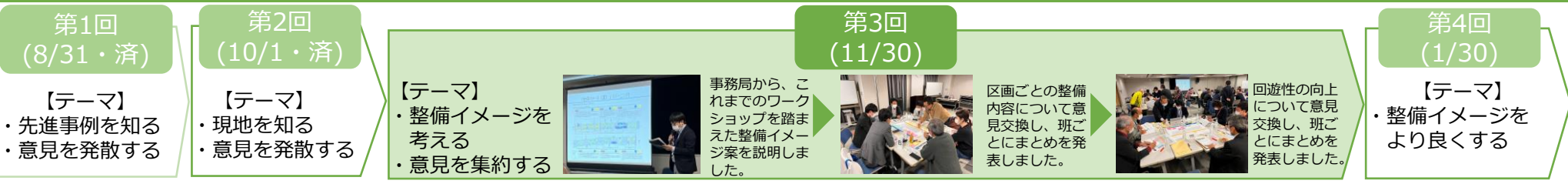
この度は、「平和大通りの利活用のためのワークショップ」(第3回)にご参加いただきありがとうございました。本通信では、このワークショップの結果の概要についてお知らせします。

ワークショップとは？

参加者が自らの考え方や意見を語り、相互の意見から何かを学び、新たな考えを生み出す意見交換の場です。本ワークショップでは、沿道の町内会、地区社会福祉協議会、商店街組合、平和活動団体の代表者の方々や平和大通りの利活用に関心のある市民の方々、本事業の関係課の担当職員などが意見交換を行い、考え方を共有しながら、通りの魅力や価値を高める利活用や施設の整備内容などを考えます。



1 ワークショップの流れ



2 意見交換のまとめ

「平和大通りの利活用のための整備の方向性を共有し、場所ごとの魅力や価値を高めるアイデアを深掘りする」をテーマに、「区画ごとの整備内容」と「回遊性の向上」について各班で意見交換を行いました。各班で出た意見は2ページをご覧ください。

【区画ごとの整備内容】

		気に入った点	見直したい点・追加したい点
園路等		○園路のバリアフリー化 ○園路沿いに点在するベンチ	●連続性や統一感があり、スムーズで滑らかな線形の園路の整備 ●歩くだけで平和が感じられるような芸術作品の設置 ●園路沿いのフットライトの整備や慰霊碑・石燈籠等のライトアップ
広場	Aゾーン	○比治山公園とのつながりが感じられる芸術作品の設置 ○総合案内サインの設置	●屋根付きの休憩スペースの整備 ●京橋川や比治山が眺められるイスやテーブルの設置
	Bゾーン	○日本庭園への東屋の設置 ○遊具広場へのトイレの設置 ○親子がくつろぐスペースの整備	●エリア全体を対象とした日本庭園の整備（和のイメージで統一） ●インバウンド向けのイベントゾーンの整備 ●日本庭園へのウッドデッキや水場の整備 ●芸術作品のような遊具や和のテイストの遊具の設置 ●遊具広場へのベンチや東屋等の屋根の設置
	Cゾーン	○点在する店舗やトイレの設置 ○イベントスペース（屋根含む。）の整備 ○ウッドデッキで楽しく感じられる雰囲気	●交流拠点の目的の明確化、ターゲットと利用シーンの設定、交流が生まれる仕掛けづくり ●イベント等で自由に活用できるスペース（店舗縮小）やワークスペースの整備 ●世界に発信できるシンボル施設（芸術作品、イサム・ノグチ氏の作品等）の設置や特徴づくり ●ウッドデッキへのテーブル・イス・ソファの設置（居心地の良さの追求） ●芝生の整備（ウッドデッキ縮小） ●店舗とイベントスペースの調和（キッチンカーの活用） ●子供が遊べる水盤や噴水の整備 ●ハードそのものがコンテンツとなる整備（デザイナーの公募） ●石燈籠の被爆者の森等への移設
	D・Eゾーン	○鎮魂が保たれた整備内容 ○平和大橋西詰（南側）の休憩広場のウッドデッキやインターロッキング舗装の整備	●アートスペースの整備及び芸術作品の展示 ●川を眺められる休憩スペースの整備 ●イスやテーブルへの屋根の設置
	Fゾーン	○遊具の充実	●市民の芸術作品を定期的に展示する固定スペースの整備 ●バーグラなどの日よけになる休憩スペースの整備 ●健康遊具の設置
樹林		○既存樹木の保全 ○中低木類の移植等	●樹木の活用

【回遊性の向上】

	回遊性の向上に向けたアイデア
案内サインの設置	☐ おしゃれな案内サインの設置（QRコード付き） ☐ ICTを活用した案内サインの設置 ☐ 照明付き案内サインの設置 ☐ Wi-Fiの通信環境の強化 ☐ 案内サインの統一 ☐ 平和大通り全体や区画内の施設等が分かる案内サインの設置 ☐ 観光客に伝わりやすい区画名の設定 ☐ 目的地までの距離表示 ☐ 他エリアのイベント案内 ☐ 市・県の観光情報の発信 ☐ 回遊を促す案内サイン
回遊を促す仕掛けづくり	☐ ウォーキングコースやジョギングロード、サイクリングロードの設定 ☐ 平和大通りの歴史等を紹介する写真パネルの設置 ☐ 回遊したくなるストーリーづくり ☐ 回遊ツアーやスタンプラリーの実施 ☐ パンフレットの作成
回遊を促す移動環境の整備	☐ シェアサイクルのポートの設置（案内サインをセットで設置） ☐ 小型モビリティの活用

3 各班ごとの意見交換の概要

○は「区画ごとの整備内容(気に入った点)」、●は「区画ごとの整備内容(見直したい点・追加したい点)」、□は「回遊性の向上」に関する主な意見を記載しています。

E班 (参加者5名) ○遊具広場の遊具が充実しているのは良い。 ●市民の芸術作品を定期的に展示する固定のスペースがあれば良い。 ●パーゴラなどの日よけになる休憩スペースが欲しい。 ●健康遊具があると良い。 □Wi-Fiの通信環境を強化する。 □案内サインを統一する。 □平和大通りの歴史等を写真付きで歩きながら見ることができるパネルを設置する。 □パンフレットを作成する。	D班 (参加者7名) ○全体的に鎮魂が保たれる整備内容となっているのは良い。 ○平和大橋西詰(南側)の休憩広場のウッドデッキやインターロッキング舗装は良い。 ●慰霊碑等や愛宕池、日本庭園、石燈籠、樹木などをライトアップし、ベンチ等の足元にも照明を設置する。 ●アートスペースを整備し、芸術作品を展示する。 ●川を眺められる休憩スペースがあると良い。 ●イスやテーブルに屋根が欲しい。 □回遊したくなるストーリーをつくる。 □ウォーキングコースやジョギングロード、サイクリングロードを設定する。 □スタンプラリーを行う。 □シェアサイクルのポートを設置する。 □小型モビリティのステーションを設ける。	B班 (参加者6名) ○各ブロックに花壇があるのは良い。 ○日本庭園に東屋をつくるのは良い。 ○遊具広場にトイレがあることで、親子連れが更に長く滞在できる。 ○親子がくつろぐスペースがホテルの前にあるのは良い。 ●園路を全体的に連続性や統一感を持たせたものにする。 ●全体のコンセプトは「平和のシンボルロード」であるため、芸術作品を設置するなど、歩くだけで平和が感じられる仕掛けがあると良い。 ●エリア全体を日本庭園として整備し、「和」のイメージで統一する。 ●インバウンド向けのイベントゾーンが欲しい。 ●Cゾーンとの連続性と余韻が感じられるよう、日本庭園にウッドデッキを整備する。 ●日本庭園に水場があると良い。 ●遊具は単なる更新ではなく、遊具自体が芸術作品(平和の芸術)のようなものとする。 ●遊具は日本庭園と同じイメージで整備すると和のテイストになる。 ●遊具広場に親が休めるベンチや東屋等の屋根があれば良い。 □ICTを活用した案内サインを各所に設置する。 □小型モビリティを利用・運行できるようにする。	A班 (A1班、A2班) (参加者8名) ○ベンチがところどころにあって休憩できるのは良い。 ○芸術作品があることで、比治山公園の現代美術館とのつながりを感じることができる。 ○総合案内サインが設置されているのは良い。 ○もともと多くある緑を生かしているのは良い。 ●おしゃれなベンチ(オブジェベンチ)があると良い。 ●屋根付きの休憩スペース(東屋等)が欲しい。 ●京橋川や比治山も眺めることができるようなイスやテーブルがあれば良い。 ●樹木が活用できれば良い。 □おしゃれな案内サインを設置する。(QRコード付き) □隣の区画の施設が分かるようにする。 □AブロックやBブロックなど、観光客に伝わりやすいブロックの名称を付ける。 □目的地までの距離表示があれば良い。 □他エリアのイベント案内があれば良い。 □市・県の観光情報が発信できれば良い。 □回遊を促す案内サインがあると良い。
--	--	---	--



C班 (C1班、C2班、C3班、C4班) (参加者21名) ○園路をバリアフリー化するのは良い。 ○イベント利用に応じたバリエーションのある広場があるのは良い。 ○店舗やトイレ、イベントスペース(屋根含む。)の整備は良い。 ○店舗が点在しているのは良い。 ○ウッドデッキで歩いて楽しく感じられる雰囲気になっているのは良い。 ○中低木類の移植等を行うことは良い。 ●園路をスムーズで滑らかな線形にする。 ●ターゲットを決めて何を目的に歩いてもらうかを設定する。 ●統一したデザインのファニチャーを南北動線の結節点に重点的に設置する。 ●平和記念公園から灯和の径、平和大通りへと連続する光の道を整備する。 ●園路沿いにフットライトを整備する。 ●通年でデザインの効いたライトアップが全エリアにあれば良い。 ●交流拠点の目的を明確にし、観光メインなら観光客目線で考える必要がある。(ターゲットと利用シーンを設定する必要がある。) ●交流拠点として、交流が生まれる仕掛け(ソフト)が必要である。	●全体的にパンチ、アクセント、仕掛けが欲しい。 ●イベント等で自由に活用できるスペースを増やす。 ●イベント用の電源やトイレ、水飲み場があると良い。 ●世界に発信できるシンボル施設や特徴(世界でここにしかないようなもの)が欲しい。 ●世界に発信できるという点で、各区画内に芸術作品を設置する。 ●イサム・ノグチ氏に絡めたシンボリックなものがあっても良い。 ●ウッドデッキでの居心地の良さを追求し、テーブルやイス、ソファを設置する。 ●外で少し仕事ができるようなワークスペースを設ける。 ●ウッドデッキは全面ではなく、一部であれば良い。 ●ウッドデッキより芝生の方が良い。 ●有名な店舗やシェフを起用する。 ●世界各地のグルメや広島地の酒のバー、広島文化である神楽を楽しむ常設施設があっても良い。 ●店舗に持たせる機能として、平和を考える場や交流する場などがあると良い。	●市民が使えるギャラリーみたいな小さな建物があると良い。 ●常設店舗は周辺飲食店との調和を大事にしないといけない。 ●現状でイベントを行うにもスペースがなく、店舗が建つと、イベントが制限される。 ●店舗は自由度やコスト面で仮設の方が良く、キッチンカーのようなものを考えた方が良い。 ●平和記念公園にあるようなデザイン性のあるトイレを設置する。 ●子供が水遊びできる水盤や噴水などを整備する。 ●世界をリードする都市としてハードそのものがコンテンツになるような整備が必要である。 ●有名なデザイナーを広く公募すると良い。 ●石燈籠を移設する(被爆者の森等)。 ●ベンチは固定のものがあっても良い。 □照明付き案内サインとシェアサイクルのポートをセットで設置する。 □平和大通りの全体が分かるサインを設置する。 □回遊するためのツアーを行う。
---	---	--